

2016年10月5日

報道関係各位

Medicines for malaria Venture 社との共同研究により
田辺三菱製薬 医薬品化合物ライブラリーから
マラリアの新規治療薬開発に向けた**ヒット化合物を同定**
－ 開発途上国に蔓延する感染症の治療をめざして －

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：三津家 正之）は、マラリア薬の研究機関である Medicines for Malaria Venture（以下、MMV）と革新的なマラリアの治療に向け、共同で化合物スクリーニングを実施した結果、田辺三菱製薬が提供していた医薬品化合物ライブラリーから 3 種類の有望なヒット化合物を同定しましたので、お知らせいたします。

開発途上国に蔓延する感染症に対する新薬創出の促進をめざして、日本発の官民パートナーシップである公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（Global Health Innovative Technology Fund、以下「GHIT Fund」）を介して、2015年5月に、田辺三菱製薬が所有する約 50,000 種類の医薬品化合物ライブラリーを MMV に提供し、共同研究を開始しました。この共同研究では、現行の抗マラリア薬への耐性という課題を克服する新規の抗マラリア薬候補化合物を探索するため、医薬品化合物ライブラリーを用いたハイ・スループット・スクリーニングを実施し、その結果、3 種類のヒット化合物の同定に繋がりました。

また、今回、新規の抗マラリア薬候補化合物として、この 3 種類の有望なヒット化合物を出発点とするリード化合物を創製するために、新たに GHIT Fund から 6,182 万円の助成を受けることとなりました。2016年10月から、MMV との共同研究は次ステージに移り、GHIT Fund の助成金を活用しながら、18ヶ月の期間で、リード化合物の創製を進める予定です。

田辺三菱製薬は、マラリア、エボラ出血熱、インフルエンザ等の国際的な広がりを見せる感染症を制圧する医薬品の創製に挑戦するとともに、アンメット・メディカル・ニーズに応える医薬品の創製を通して、世界の人々の健康に貢献していきます。

« 本件に関するお問い合わせ先 »

田辺三菱製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6205-5211